# Java デジタル証明書の期限切れにともなう現象について

2021 年 7 月 28 日 ディサークル株式会社

#### 1. はじめに

POWER EGG の Java アプリケーションに同梱しているデジタル証明書の有効期限が、2021 年 8 月 17 日(火) 08:59:59 までとなります。証明書の有効期限が切れた場合、ファイル添付アプレ ット/PC 版リマインダー/組織図メンテナンスの利用時に有効期限切れの警告が表示される、ま たは、Java アプリケーションが正常に動作しない場合がございます。

本資料では、証明書の期限切れにともない、有効期限が切れた場合に Java アプリケーションを 利用した際に発生する可能性のある現象に関して、発生時の対処方法についてご説明いたしま す。

なお、画面イメージや発生タイミングについてはクライアント環境にインストールされている Java バージョン、ご利用の POWER EGG バージョン等により異なる場合がございますのであらかじめご 了承ください。

#### 2. 証明書の有効期限が切れた場合の現象と対応方法

有効期限が切れた場合の現象と対応方法について具体的なイメージをまじえてご説明します。 なお、以下のイメージは、ご利用の Java や OS、ブラウザ、POWER EGG のバージョン、実行しよう とする Java アプリケーション(ファイル添付アプレット/PC 版リマインダー/組織図メンテナンス) により若干異なる場合がございます。

### 2-1. セキュリティ警告(証明書の失効または期限に関するエラー)

【画面例】

| セキュリティ警告  |          |                 |            | <b>-X</b> - |
|---|----------|-----------------|------------|-------------|
| このアプリケーション  | ンを実行し    | しますか。           |            |             |
|   | 名前: (    | ORGApplet       |            |             |
|   | 発行者: [   | D-CIRCLE        |            |             |
|   | 場所: ⊦    | http://         |            |             |
| このアプリケーションを   | 主実行する    | と、セキュリティ・リスクか   | 「生じる可能性があり | ます          |
| リスク: このアブリケーションは、コンピュータおよび個人情報を危険にさらす可能性がある無制限のアクセスで実行されます。指定された情報は信頼できないか不明なため、このソースをよく知らない場合は、このアプリケーションを実行しないことをお薦めします |          |                 |            |             |
| このアプリケーショ<br>詳細情報(M)  | シを識別する   | るために使用された証明書は   | 失効しています。   |             |
| 下のボックスを選択し、   | 「実行」をク   | リックしてアプリケ ーションを | 起動します      |             |
| 🗌 リスクを受け入れ  | て、このアプリ・ | ケーションを実行します。(1) | 実行(R)      | 取消          |

※ 証明書が失効している(上記の例)もしくは期限が切れているという旨のエラー

【対応方法】

「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。」「この発行者からのコンテンツを常に 信頼します。」などの欄がある場合、チェックを入れ[実行]を押してください。

2-2. エラー (ブロックされた Java アプリケーション)

#### 【画面例】

| ブロックで        | されたJavaアプリケーション   |
|--------------|---|
| Javatz       | キュリティによってブロックされたアプリケーション  |
| セキュリ<br>満たしす | ティ保護のために、アプリケーションは現在「高」または「非常に高」のセキュリティ設定の要件を<br>ているか、実行を許可する例外リストに含まれている必要があります。 |
|              | 言羊細"情幸服(M)  |
|              |   |
| 名前:          | ORGApplet   |
| 場所:          | http://   |
| 理由:          | セキュリティ設定により、期限切れかまだ有効ではない証明書で署名されたアプリケーション<br>の実行がブロックされています                      |
|              | ОК  |

【対応方法】

[OK]または[×]を押して画面を閉じる。正常に動作しないため、その場合は以下のいずれかを 実施する。

- 【正式対応】証明書の更新(サーバへの更新ツール適用)/最新パッチの適用/バージョ ンアップ(※ 製品バージョンによって異なる)
- 【暫定対応】Java コントロールパネルで「例外サイト・リスト」を登録する(Java コントロール パネルの「セキュリティ」タブに「例外サイト・リスト」がある場合)

⇒ 設定方法は末尾の「参考: Java 設定方法」の※1 を参照

【暫定対応】Java コントロールパネルで「セキュリティ・レベル」を"中"に下げる(Java コントロールパネルの「セキュリティ」タブに「例外サイト・リスト」がない場合。ただし、古いバージョンの Java では設定できない場合があります)

#### ⇒ 設定方法は末尾の「参考: Java 設定方法」の※2を参照

上記の暫定対応を実施した場合でも、2-1.のセキュリティ警告が表示される場合があります。 セキュリティ警告が表示される場合には、2-1.の対応方法と同様に「リスクを受け入れて、このア プリケーションを実行します。」「この発行者からのコンテンツを常に信頼します。」などの欄がある 場合、チェックを入れ[実行]を押してください。

# 参考: Java 設定方法

Java コントロールパネルでの設定手順についてご説明します。

#### ※1 例外サイト・リストの登録方法

コントロールパネル > Java より、Java コントロール・パネルを起動し、[セキュリティ]タブから"例外サイト・リスト"の[サイト・リストの編集]ボタンをクリックします。



② 例外サイト・リスト画面で[追加]ボタンをクリックします。



③ 場所に POWER EGG の URL を入力し、[OK]をクリックします。
 URL には、POWER EGG にアクセスする URL の"pe4j"前までの部分を入力します。
 (例)POWER EGG のアクセス URL が「http://powereggserver/pe4j/login.jsf」の場合、例外サイト・リストには「http://powereggserver/」と入力

|   | ×              |
|---|----------------|
| 次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を | 許可されます。        |
| U. 場所   |                |
| http://powereggserver/                        |                |
|   |                |
|   |                |
|   |                |
|   |                |
|   |                |
|   | 削除( <u>R</u> ) |
| ОК  | 取消             |

SSL を利用しない場合(http://から始まる URL の場合)、以下のセキュリティ警告が表示されます。[続行]をクリックしてください。

| セキュリティ警告 - HTTPロケーション  | ×                                |
|--|----------------------------------|
| 例外サイト・リストにHTTPロケーションを含めることは、セキュリ<br>ティ・リスクと見なされます  |                                  |
| 場所: http://powereggserver<br>HTTPを使用するロケーションにはセキュリティ・リスクがあるため、お使いのコンピュータの個。<br>険にさらされるおそれがあります。例外サイト・リストにはHTTPらサイトのみを含めることをお渡<br>このロケーションを受け入れる場合は「統行」をクリックし、この変更を中止する場合は「取消<br>します。<br>続行 | へ情報が危<br>気めします。<br>当」をクリック<br>取消 |

④ 例外サイト・リストに URL が追加されます。[OK]をクリックします。

| ▲ Javaコントロール・パネル   |                    |
|--|--------------------|
| 一般 更新 Java セキュリティ 詳細   |                    |
|  |                    |
| 例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル                                      |                    |
| ◎ 非常に高(⊻)  |                    |
| 証明書が失効していないことを確認できる場合にかずり、信頼できる認証局の証<br>される Javaアブリケーションのみ実行を許可されます。 | 明書により識別            |
| <ul> <li>● 高(H)</li> </ul>   |                    |
| ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー                                 | により識別され            |
| 例外サイト・リスト<br>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後               | に実行を許可されま          |
| http://powereggserver/   | リストの編集( <u>S</u> ) |
| セキュリティ・プロンプトの復元( <u>R</u> ) 証  | 明書の管理( <u>M</u> )  |
| ОК 取消  | 適用( <u>A</u> )     |

以上で設定は終了です。設定後は全ブラウザを終了し、ブラウザを再起動してください。

## ※2 セキュリティ・レベルの変更方法(「例外サイト・リスト」がない場合)

 コントロールパネル > Java より、Java コントロール・パネルを起動し、[セキュリティ]タブで "セキュリティ・レベル"を『中』に変更し、[OK]をクリックします。

| 🎒 Javaコントロール・パネル   |
|--|
| 一般 更新 Java セキュリティ 詳細   |
| ✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)                                     |
| セキュリティ・レベル   |
|  |
| - 高(最小限の推奨)  |
| 最低ゼキュリティ設定 - セキュリティ・プロンプトが表示された後に、すべてのJavaアプリ<br>ケーションを実行できます。 |
| 証明書の管理(M)  |
| OK 取消 適用( <u>A</u> )   |

以上で設定は終了です。設定後は全ブラウザを終了し、ブラウザを再起動してください。

以上